

# 競技・審判上の注意

## 競技上の注意

- 1 本大会は平成29年度公益財団法人日本バドミントン協会競技規則、大会運営規程及び公認審判員規程により運営します。
- 2 選手は会場に到着次第、受付場所にて受付を済ませてください。
- 3 選手は試合のコール後、直ちに所定のコートに入ってください。コール後、10分を経過してもコートインしない場合は競技役員長と協議の上、棄権扱いとなりますのでご注意ください。コートは固定ではなく、空いたコートから順に試合を行います。
- 4 試合前の練習は2分間とし、シングルスは対戦相手と、ダブルスはペアと指定されたコートで同時に行ってください。
- 5 試合が連続する場合は、原則として前の試合終了の15分後に次の試合を開始します。
- 6 シャトルは検定合格品を使用します。練習用シャトルは各自用意してください。
- 7 開会式終了後、直ちに競技を開始しますので、第一試合の選手は試合の準備をして開会式に臨んでください。
- 8 各サイドにコーチ席を2席配置します。
- 9 各種目とも3位決定戦を行います。
- 10 各種目ごとに、競技終了後に3位までの入賞者を表彰します。なお、閉会式は行いません。

## 審判上の注意

- 1 インプレー中、会場の付属物等にシャトルが触れた場合はフォルトとします。
- 2 色付き着衣を使用する場合は審査合格品(大会運営規程第23条)とし、背面には都県名を漢字で(縦15cm×横30cm程度)ハッキリわかるように明示してください。
- 3 競技規則の第9条(サービス)、第13条(フォルト)、第16条(プレーの継続、不品行な振舞い、罰則)については、厳正に判定し処置します。
- 4 審判員に対して疑問のある場合は当該プレーヤーに限り質問することを認めます。ただし、抗議あるいは異議であってはなりません。(大会運営規程第36条)
- 5 主審は千葉県バドミントン協会審判員で行いますが、線審は準決勝・決勝を除いて敗者選手にお願いいたします。